

問9 本調査またはリハビリテーションについてのご意見	
	導者は利用者に根気強く対応していただくことを望む。
314	マッサージを10分間していただくのですが、せめて20分間にしていただけたら、もっと体が楽になると思います。
315	医療保険によるリハビリテーションの期間が短すぎる。せめて半年を限度として欲しい。介護保険のリハビリがもう少し充実したものになるのであれば、そちらでフォローも出来るでしょうが、うちの介護施設はリハビリ病院の中にあるので、充実している方だと思いますが、それでももう少しという思いはあります。他の所を見学した事はないのですが、介護保険施設単体で運営している所よりは、良いと思うので（いろいろな人の話を聞くと）そう感じている人は多いのではないのでしょうか。

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る特別調査
リハビリテーション実施保険医療機関における患者状況調査
施設調査票（共通票）

問1. 貴院の施設区分についてお伺いします。種別、開設主体それぞれについて、あてはまる番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

種別	1 病院	2 診療所(有床)	3 診療所(無床)
開設主体	1 厚生労働省	2 独立行政法人国立病院機構	
	3 国立大学法人	4 独立行政法人労働者健康福祉機構	
医療機関	5 その他		
	6 都道府県	7 市町村	8 日赤
	9 済生会	10 北海道社会事業協会	11 厚生連
社会保険関係団体	12 国民健康保険団体連合会		
	13 全国社会保険協会連合会	14 厚生年金事業振興団	
	15 船員保険会	16 健康保険組合及びその連合会	
医療法人個人その他	17 共済組合及びその連合会	18 国民健康保険組合	
	19 公益法人	20 医療法人	21 学校法人
	22 社会福祉法人	23 医療生協	24 会社
	25 その他の法人	26 個人	

問2. 貴院の許可病床数等についてお伺いします。数字でお答えください。また、選択肢がある設問についてはあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

一般病床数（無床の場合は0とご記入ください）		床
療養病床数（無床の場合は0とご記入ください）	医療保険の適用を受ける療養病床数	床
	介護保険の適用を受ける療養病床数	床
その他の病床数（精神、結核、感染症病床） （無床の場合は0とご記入ください）		床
リハビリテーション科標榜の有無	1 無 2 有	
リハビリテーション専門医数 （0人の場合、0とご記入ください）		人
回復期リハビリテーション病棟入院料の届出の有無	1 無 2 有 ⇒（病床数	床）
亜急性期入院医療管理料の届出の有無	1 無 2 有 ⇒（病床数	床）
脳卒中ケアユニット入院医療管理料の届出の有無	1 無 2 有 ⇒（病床数	床）
主に、どの段階のリハビリテーション医療を担っていますか	1 急性期中心 2 回復期中心 3 維持期中心 4 いずれともいえない	

(⇒問3へお進みください。)

問3. 貴院で改定前(平成18年3月以前)に届け出ている施設基準について、あてはまる番号を全て○で囲んでください。

1 総合リハビリテーション施設	以下のどれにあてはまりますか。(1つに○) 1 総合リハビリテーション施設 A 2 総合リハビリテーション施設 B
2 心疾患リハビリテーション	
3 理学療法又は老人理学療法	以下のどれにあてはまりますか。(1つに○) 1 理学療法(II) 2 理学療法(III) 3 理学療法(IV)
4 作業療法又は老人作業療法	以下のどれにあてはまりますか。(1つに○) 1 作業療法(II) 2 作業療法(III) 3 作業療法(IV)
5 言語聴覚療法	以下のどれにあてはまりますか。(1つに○) 1 言語聴覚療法(I) 2 言語聴覚療法(II) 3 言語聴覚療法(III)
6 難病患者リハビリテーション科	

問4. 貴院で改定前(平成18年3月以前)に実施していた疾患別リハビリテーションについて、あてはまる番号を全て○で囲み、患者さんの構成割合をおおよその数字でお答えください。

実施していた疾患別リハビリテーション	リハビリテーションを実施している全患者さんに占める割合
1 心大血管疾患リハビリテーション相当 ⇒	%
2 脳血管疾患等リハビリテーション相当 ⇒	%
3 運動器リハビリテーション相当 ⇒	%
4 呼吸器リハビリテーション相当 ⇒	%

問5. 貴院で現在届け出ているリハビリテーション施設基準について、あてはまる番号を全て○で囲み、届出時期を数字でお答えください。

現在届け出ているリハビリテーション施設基準	届出時期
1 心大血管疾患リハビリテーション料(I)	(平成) 年 月
2 心大血管疾患リハビリテーション料(II)	(平成) 年 月
3 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	(平成) 年 月
3 ⇒ 言語療法のみを行う	(平成) 年 月
4 脳血管疾患等リハビリテーション料(II)	(平成) 年 月
5 運動器リハビリテーション料(I)	(平成) 年 月
6 運動器リハビリテーション料(II)	(平成) 年 月
7 呼吸器リハビリテーション料(I)	(平成) 年 月
8 呼吸器リハビリテーション料(II)	(平成) 年 月
9 回復期リハビリテーション病棟入院料	(平成) 年 月
10 難病患者リハビリテーション料	(平成) 年 月
11 障害児(者)リハビリテーション料	(平成) 年 月

(⇒問6へお進みください。)